

「生物多様性ふくおか戦略（仮称）」の検討の進め方

1. 戰略策定の検討方針

＜生物多様性の意義＞

- 福岡市は、古くは、弥生時代の水田耕作に始まり、大陸との交易を盛んにしながら、今日わが国有数の商業都市として発展するまで、有史以来連綿と人は多様な環境に適応し、また、使いこなしながら生活してきた。
- この営みの中で、人が自然に手を加えることによって、安全で住み良い生活環境を創造し、同時に、伝統的な知識や固有の文化、美しい景観が育まれてきた。
- 現在福岡市に住んでいる人の 9 割が住みやすいと実感しており、その理由として「安価でおいしい食べ物」「自然環境の豊かさ」をあげている。これらは、いずれも生態系サービスから提供されているものであり、生物多様性の豊かさが福岡市の魅力と支える重要な要素となっていることが伺える。

＜生物多様性地域戦略策定のねらい＞

- 現在の福岡市の個性・魅力は、その多くが生物多様性から受ける生態系サービスによって支えられてきたものであり、これら生態系サービスの持続的利用を支える生物多様性を維持・向上していくことは、都市の魅力を増進していくことにも繋がっていくものと考えられる。
- 策定を行う「生物多様性ふくおか戦略（仮称）」は、上記の事項を踏まえ、福岡市における生物多様性のあり方を考え、将来にわたって継続的にその恵みを享受するための市域ぐるみの行動計画を策定するものであり、もって、福岡市の活力の維持、向上に資するための長期的な成長戦略とするものである。

①市域の生物多様性と生態系サービスに関する過去から現在への変遷に着目した分析

②市域の生物多様性と生態系サービスの変化の要因分析・それを踏まえた課題の整理

③戦略の目標像の設定

④社会全体で連携した取り組み方策の検討

⑤福岡市の活力の維持・向上を目指す成長戦略の一環として、戦略を策定

2. 検討の進め方

<戦略策定にあたっての考え方>

■福岡市の特性の把握

- ・他の地域にはない福岡市独自の個性・魅力を以下の観点から整理。
- <観点>
 - ・生物多様性の恵みを享受・利用してきた歴史の中で培われてきた福岡市の個性
 - ・生物多様性に支えられた福岡市の魅力（新鮮でおいしい食べ物、豊かな自然など）

■生物多様性とその利用の現状と変遷、その要因についての分析

- ・生物多様性の健全性、生態系サービス、それらに影響を及ぼす可能性のある社会状況や環境について、近代以降に着目して変化の状況を把握。
- ・生物多様性の健全性、生態系サービスの変化の要因について分析。

■生物多様性に関連する取り組みの現状

- ・市民や市民団体、事業者、市の生物多様性に関連する取り組みの状況を把握。

← 市民や市民活動団体等のアンケート結果

■福岡市における生物多様性とその利用に関する課題の整理

- ・生物多様性を維持・向上し、生態系サービスを持続的に利用していく上での課題を整理。
- ・福岡市の個性・魅力を伸ばしていくために保全・活用すべき生物多様性を整理。

<観点>

- ・文化的な側面
- ・自然環境の側面
- ・産業振興の側面
- など

■福岡市における生物多様性とその利用に関する方向性(戦略的理念と目標)の検討

- ・市域のまちづくりのあり方について、方向性を示し、目標像を設定。

→持続的な発展が可能な魅力あふれる福岡市を実現するための長期的な成長戦略とする。

■行動計画の検討

- ・上記、戦略的理念と目標を受け、それらを実現するための施策・行動計画を検討。
 - ・市に求められる取り組み（基本施策と行動計画）
 - ・市民、市民団体、事業者に求められる取り組み
 - ・実施場所、実施目標、実施主体等を明確にした実践的なケーススタディ

■戦略の推進体制・進行管理の方法の検討

- ・戦略の推進体制について検討。
- ・施策の進捗状況、目標の達成状況等の点検のためのモニタリング手法について検討。

戦略の素案作成

<委員会での検討事項>

○福岡市の特性（個性・魅力）を把握するための観点と収集すべきデータ

- ・地理的特性
- ・福岡市の成り立ち、歴史
- ・祭りや食文化
- ・人とのかかわりの中で形成された多様な自然
- ・福岡市の魅力を支える生態系サービス（新鮮で安価なおいしい食べ物、豊かな自然）
- ・快適な生活を支える生態系サービス（気候の調整や水の調整、循環）

○生物多様性とその利用、変化をもたらす要因を把握するための観点と収集すべきデータ

- 生物多様性とその利用、変化をもたらす要因についての評価・解析手法
- ・生物多様性の健全性、生態系サービスの評価・解析手法（評価すべき項目、評価軸等）

<生物多様性の健全性>

- ・生態系の多様性
- ・種の多様性
- ・種の危うさ

<生態系サービス>

- ・基盤サービス（博多湾における水循環・栄養塩の循環）
- ・供給サービス（農産物・家畜・水産物・淡水）
- ・文化的サービス（文化的多様性・レクリエーションなど）
- ・調整サービス（気候・水の調節）

・変化をもたらす要因の分析にあたっての考え方、手法

<変化の要因>

- ・社会状況の変化（人口・世帯数の変化、産業の変化）
- ・暮らしの変化（食料自給率、水道普及率、エネルギー消費の変化など）
- ・環境の変化（市街地・耕作地・森林面積、水質、底質、地球温暖化など）

○市民・事業者に対する意識調査

- ・アンケート調査の内容・方法
- ・市民や市民活動団体の意見の反映の仕方

○福岡市における生物多様性とその利用に関する課題

- ・生物多様性を維持・向上し、生態系サービスを持続的に利用していく上での課題
- ・福岡市の個性・魅力を伸ばしていくための課題

- ・文化の継承・自然環境の保全（干潟・博多湾・里地里山など）
- ・農林水産業の振興・二次的自然の維持、管理、利用
- ・地球温暖化の防止・市民の参画、普及啓発 など

○戦略の方向性（理念と目標）

- ・福岡市の個性・魅力を伸ばしていくための方策
- ・長期的に見た市域のまちづくりのあり方（目標像）
- ・行政、まちづくりの基本的な方向性
- ・戦略の期間
- ・対象区域
- など

○行動計画

- ・戦略の施策への反映
- ・効果的な取り組み方法

○推進体制

- ・市民や事業者、市の協力体制の構築の仕方
- ・市関連部局間での横断的、基盤的取り組み

○進行管理の方法

- ・施策の効果を把握するための指標
- ・モニタリング手法、実施体制

○素案の内容